

令和3年度
スポーツ施策の進捗状況
(重点施策)

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり ● 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充
---------------	----------------------------------	----------------	--

事業概要	<p>地域スポーツハブ展開事業</p> <p>総合型地域スポーツクラブ等が地域のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」を担い、地域のニーズに応じて行う公益的なスポーツ活動を支援する。</p>
-------------	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内各地において、地域のスポーツ活動拠点が機能しスポーツ環境が整っている ● 各地域スポーツハブ内におけるスポーツ活動数が増加している ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾の受講者数が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数：11団体 ● 立ち上げから3年後のスポーツ活動数が立ち上げ年度比で20%増加している ● 広域を対象とした取組や市町村と連携した取組が増加している ● 助成終了後も各地域のスポーツに関するニーズや課題が検討される場が確保されている ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾の受講者数が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数：11団体 ● 各地域スポーツハブのアクションプラン（指標）に示す目標値に到達 ● 地域スポーツハブ展開事業全体の指標について目標値に到達 ● ハブ同士や市町村との連携により、広域的な視点を持った取り組みを各ハブが展開 ● 継続的な活動に向け、自主財源確保の取り組み及び市町村支援の方向性の決定

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数（R2年度：8団体）⇒R3:9団体 ● 立ち上げ3年後の地域スポーツハブ内におけるスポーツ活動数（H30年度→R2） <ul style="list-style-type: none"> ・南国市：4件→6件⇒R3:1件 ・土佐市：8件→9件⇒R3:4件 ・土佐清水市：12件→11件⇒R3:3件 ・室戸市：3件⇒R3:3件 ・香南市：10件⇒R3:6件 ● 広域を対象とした取組数：3件⇒R3:1件 ● 地域スポーツハブ連携事業数：2件⇒R3:2件 ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾等の実施回数：2回 ⇒R3:1回 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域的な視点を持った事業展開及び各ハブの連携強化 ● 地域ニーズに応じたアクションプランのさらなる充実 ● リモートスポーツパッケージの有効活用に向けた取り組みの強化 ● 地域スポーツハブ立ち上げに向けたスポーツ関係団体等との連携 ● 自主財源確保のに向けたモデル化の検討 ● 運営費に関する市町村等からの支援の調整及び方向性の検討

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 地域スポーツハブの機能の充実及び継続に向けた支援</p> <p>①地域スポーツ促進委員会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な事業やスポーツツーリズム、健康づくりの推進につなげるための提案及び助言（広域からの情報収集、促進委員の人選、広報の強化等） ・リモートスポーツパッケージの有効活用に向けた提案及び助言 ・促進委員会の体制強化に向けた検討 <p>②地域スポーツコーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーター等育成塾の開催（計6回） ・リモートスポーツパッケージ情報交換会の開催（計6回） <p>③地域スポーツハブ機能の共有化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動4年目及び令和5年度以降を見据えた活動事例のモデル化（活動項目毎の事例紹介等） ・リモートスポーツパッケージの活動事例のモデル化 ・地域スポーツハブの指標に基づき、各ハブが活動状況を自己評価する仕組みの構築（促進委員会での評価等） <p>④新規立ち上げの地域スポーツハブへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促進委員会での事業概要及び促進委員会の進め方の説明 ・地域スポーツコーディネーター育成塾の有効活用 ・立ち上げに向けたスポーツ関係団体等との協議 <p>⑤助成終了後も地域スポーツハブが継続的に活動される仕組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保に向けた検討（クラブ事例の共有） ・運営費に関する市町村等からの支援に向けた調整及び支援の方向性の検討 ・市町村担当者会、個別の市町村訪問による説明 	<p>(1) 地域スポーツハブの機能の充実及び継続に向けた支援</p> <p>①地域スポーツ促進委員会への参加 計8回 （室戸市、南国市、香南市、須崎市、四万十町、土佐清水市）</p> <p>②地域スポーツコーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーター等育成塾（5/28開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期） ・リモートスポーツパッケージ情報交換会 計1回（4/7） ・地域スポーツコーディネーター情報交換会 計1回（7/30） <p>③地域スポーツハブ機能の共有化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年目を迎える3ハブ（土佐市・南国市・土佐清水市）の活動事例紹介資料の作成 ・他ハブ促進委員会や関係者等に周知 <p>④新規立ち上げの地域スポーツハブへの支援</p> <p>【須崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市地域スポーツハブ促進委員会での事業概要説明 ・すさきスポーツクラブとの事業の進め方に関する協議 計3回 <p>【佐川町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町さくらスポーツクラブとの立ち上げに向けた協議 計2回 ・佐川町さくらスポーツクラブ理事長への事業説明 <p>【四万十市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市体育協会との協議 ・四万十市生涯学習課との協議 <p>⑤助成終了後も地域スポーツハブが継続的に活動される仕組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる団体との協議 計11回（全てのハブ） ・拠点となる市町村との協議 計10回（佐川町以外）

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）

(2) 地域スポーツハブ未設置地域における取組の支援

- ①地域ごと、市町村ごとのスポーツ活動に関する課題への対応
- ・市町村担当者会を活用した地域スポーツハブの取り組み状況の周知
- ・個別の市町村訪問を通じた課題等の情報収集
- ・地域スポーツハブ設置地域（拠点市町村）におけるモデルケースの検討
- ・促進委員会の体制充実に向けた、市町村への情報提供

D 取り組み状況

(2) 地域スポーツハブ未設置地域における取組の支援

- ・ハブ促進委員会において広域展開を意識した事業活動の実施を依頼（8回）
- ・市町村向けの事業概要資料を作成（5/28 市町村担当者会において事業概要等説明予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催延期）
- ・県内34市町村向けに、各市町村のスポーツを取り巻く環境についての調査を実施（7/1～7/30）

〔地域スポーツハブの取組実績（R3年度は予定を含む）〕

NO.	設置年度	地域スポーツハブ拠点がある市町 (核となる団体)	取組内容ごとの活動累積数〔()はR3年度の取組数〕							広域の取組 (R3のみ)	自立した取組
			子どもの活動	大人の活動	子どもから高齢者まで	障害者スポーツ	部活動の受け皿	リモートの活動	スポーツツーリズム		
1	H30	南国市 (まほろばクラブ南国)	3 (0)	5 (1)	12 (1)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	4 (4)	(1)	1
2	H30	土佐市 (総合クラブとさ)	7 (0)	12 (1)	8 (0)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	0	(1)	1
3	H30	土佐清水市 (スポーツクラブスクラム)	5 (0)	9 (0)	18 (2)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	0	(0)	2
4	R1	室戸市 (むろとスポーツクラブ)	1 (0)	2 (0)	5 (0)	0	1 (0)	0	0	(0)	0
5	R1	香南市 (こうなんスポーツクラブ)	3 (1)	9 (0)	2 (1)	1 (0)	0	0	8 (1)	(1)	0
6	R2	四万十町 (くぼかわスポーツクラブ)	1 (1)	1 (0)	3 (1)	0	0	0	1 (1)	(1)	0
7	R2	安芸市 (来楽部あつきいな)	2 (0)	7 (6)	0	3 (3)	2 (0)	0	0	(0)	0
8	R2	宿毛市 (宿毛市体育協会)	3 (0)	2 (1)	2 (2)	0	0	0	1 (1)	(0)	0
9	R3	須崎市 (すさきスポーツ倶楽部)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	0	1 (1)	0	(1)	0

A 見えてきた課題に対する改善策

- コーディネーター等育成塾や情報交換会等を通じた効果的な取組の促進
- 各市町村のスポーツ状況等の調査及び集約
- 総合型スポーツクラブ等への支援や市町村行政との連携体制の構築に向けた検討

C 見えてきた課題

- 事業活動の収益化や広域展開を意識した取り組みの更なる推進
- 各市町村のスポーツを取り巻く状況について、より精緻な情報の収集が必要
- 助成終了後もハブの活動が継続される体制の整備に向けた更なる検討
- 障害者スポーツやスポーツツーリズムに関する取組が少ない。
- 新たに立ち上げた取り組みの定着率が低く、継続した取組につなげていく必要がある

見直しの方向性

- 多様なニーズを捉えた取り組みの拡充
 - 広域のニーズや課題の把握
 - ニーズや課題ごとに取組のエリアや連携先を整理して展開
 - 地域スポーツコーディネーター情報交換会及び研修会の充実
- 県の助成終了後も継続した活動ができる体制づくり
 - 総合型スポーツクラブ等への支援
 - 市町村行政との連携体制の構築
 - 広域で連携したリモートによる取組の促進
- 民間団体や企業等が核となる新たなスポーツ推進体制との連携
 - 関係者をつなぎスポーツを通して地域の活性化を目指すスポーツコミッション（民間団体や企業等で設立を準備中）
 - 総合型地域スポーツクラブの自立的な運営の促進に向けた支援を行う中間支援組織（中間支援組織:高知県スポーツ協会）

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり ●特別支援学校等と連携とした障害者スポーツの推進
---------------	----------------------------------	----------------	--

事業概要	障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ庁委託事業等） 特別支援学校やスポーツ団体等と連携し、障害者スポーツ情報の効果的な収集・発信・共有体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、在校生や卒業生、地域住民など誰もが参加できるスポーツ機会を提供する。		
-------------	---	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●障害者が地域の身近な場所でスポーツに参加しやすい仕組みを構築した団体等が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕組みを構築した6団体等ができている ●仕組みを構築した団体・地域において、障害者が参加できるスポーツ教室が2つ以上できている 	仕組みが構築した5団体等ができている

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●現在の取組5団体等 ●障害のある方が、身近な地域で気軽にスポーツ活動を行うための環境が整っていない地域がある ●参加者が限定的である 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組の拡充に向けた連携や地域の支援者等の協力が必要 ●各取組の参加者の増加

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況																					
<p>(1) 総合型地域スポーツクラブ・関係団体等と連携した取組の実施</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（※スポーツ庁委託事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>取組内容</th> <th>協力・支援団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉法人 高知県社会福祉協議会</td> <td>陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるように、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。</td> <td> ・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人 まほろばクラブ南国</td> <td>総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多種目のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）</td> <td> ・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人 総合クラブとさ</td> <td>特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）</td> <td> ・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人 くぼかわスポーツクラブ</td> <td>地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）</td> <td> ・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会 </td> </tr> </tbody> </table>	団体名	取組内容	協力・支援団体	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるように、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。	・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会	NPO法人 まほろばクラブ南国	総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多種目のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）	・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会	NPO法人 総合クラブとさ	特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）	・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会	NPO法人 くぼかわスポーツクラブ	地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）	・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会	<p>(1) 総合型地域スポーツクラブ・関係団体等と連携した取組の実施</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（※スポーツ庁委託事業）</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>①関係団体の情報収集及び他地域の取組等の情報提供（8月～）</p> <p>②各事業の取組を「こうちスポーツNAVI」に掲載（8月～）</p> <p>③市町村等のホームページ及び広報誌を活用した情報発信に向けた働きかけ（8月～）</p> <p>④特別支援学校を通じた作業所等への情報発信</p> </td> <td> <p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>・スポーツ庁へ事業計画書を提出（6/3）</p> <p>・スポーツ庁との契約締結（6/28）</p> <p>・再委託先との契約締結手続き中（3団体契約完了）</p> <p>・8月開催第1回実行委員会の開催調整及び準備</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>(3) 特別支援学校等と連携したスポーツ機会の提供</p> <p>①取組の拡充に向けた関係団体との協議（検討会の開催）（7月～）</p> <p>②事業実施に向けた関係団体等への協力依頼（9月～）</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td> <p>(4) その他</p> <p>障害者がスポーツ参加しやすい仕組みを構築している総合型地域スポーツクラブ等の数</p> </td> <td></td> </tr> </table>	<p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>①関係団体の情報収集及び他地域の取組等の情報提供（8月～）</p> <p>②各事業の取組を「こうちスポーツNAVI」に掲載（8月～）</p> <p>③市町村等のホームページ及び広報誌を活用した情報発信に向けた働きかけ（8月～）</p> <p>④特別支援学校を通じた作業所等への情報発信</p>	<p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>・スポーツ庁へ事業計画書を提出（6/3）</p> <p>・スポーツ庁との契約締結（6/28）</p> <p>・再委託先との契約締結手続き中（3団体契約完了）</p> <p>・8月開催第1回実行委員会の開催調整及び準備</p>	<p>(3) 特別支援学校等と連携したスポーツ機会の提供</p> <p>①取組の拡充に向けた関係団体との協議（検討会の開催）（7月～）</p> <p>②事業実施に向けた関係団体等への協力依頼（9月～）</p>		<p>(4) その他</p> <p>障害者がスポーツ参加しやすい仕組みを構築している総合型地域スポーツクラブ等の数</p>	
団体名	取組内容	協力・支援団体																				
社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるように、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。	・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会																				
NPO法人 まほろばクラブ南国	総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多種目のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）	・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会																				
NPO法人 総合クラブとさ	特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）	・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会																				
NPO法人 くぼかわスポーツクラブ	地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）	・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会																				
<p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>①関係団体の情報収集及び他地域の取組等の情報提供（8月～）</p> <p>②各事業の取組を「こうちスポーツNAVI」に掲載（8月～）</p> <p>③市町村等のホームページ及び広報誌を活用した情報発信に向けた働きかけ（8月～）</p> <p>④特別支援学校を通じた作業所等への情報発信</p>	<p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <p>・スポーツ庁へ事業計画書を提出（6/3）</p> <p>・スポーツ庁との契約締結（6/28）</p> <p>・再委託先との契約締結手続き中（3団体契約完了）</p> <p>・8月開催第1回実行委員会の開催調整及び準備</p>																					
<p>(3) 特別支援学校等と連携したスポーツ機会の提供</p> <p>①取組の拡充に向けた関係団体との協議（検討会の開催）（7月～）</p> <p>②事業実施に向けた関係団体等への協力依頼（9月～）</p>																						
<p>(4) その他</p> <p>障害者がスポーツ参加しやすい仕組みを構築している総合型地域スポーツクラブ等の数</p>																						
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題																					

見直しの方向性	<p>■本事業の成果の継続・拡充</p> <p>○事業で立ち上がった取組を地域スポーツハブや市町村の取組として継続・拡充を図る</p>
----------------	---

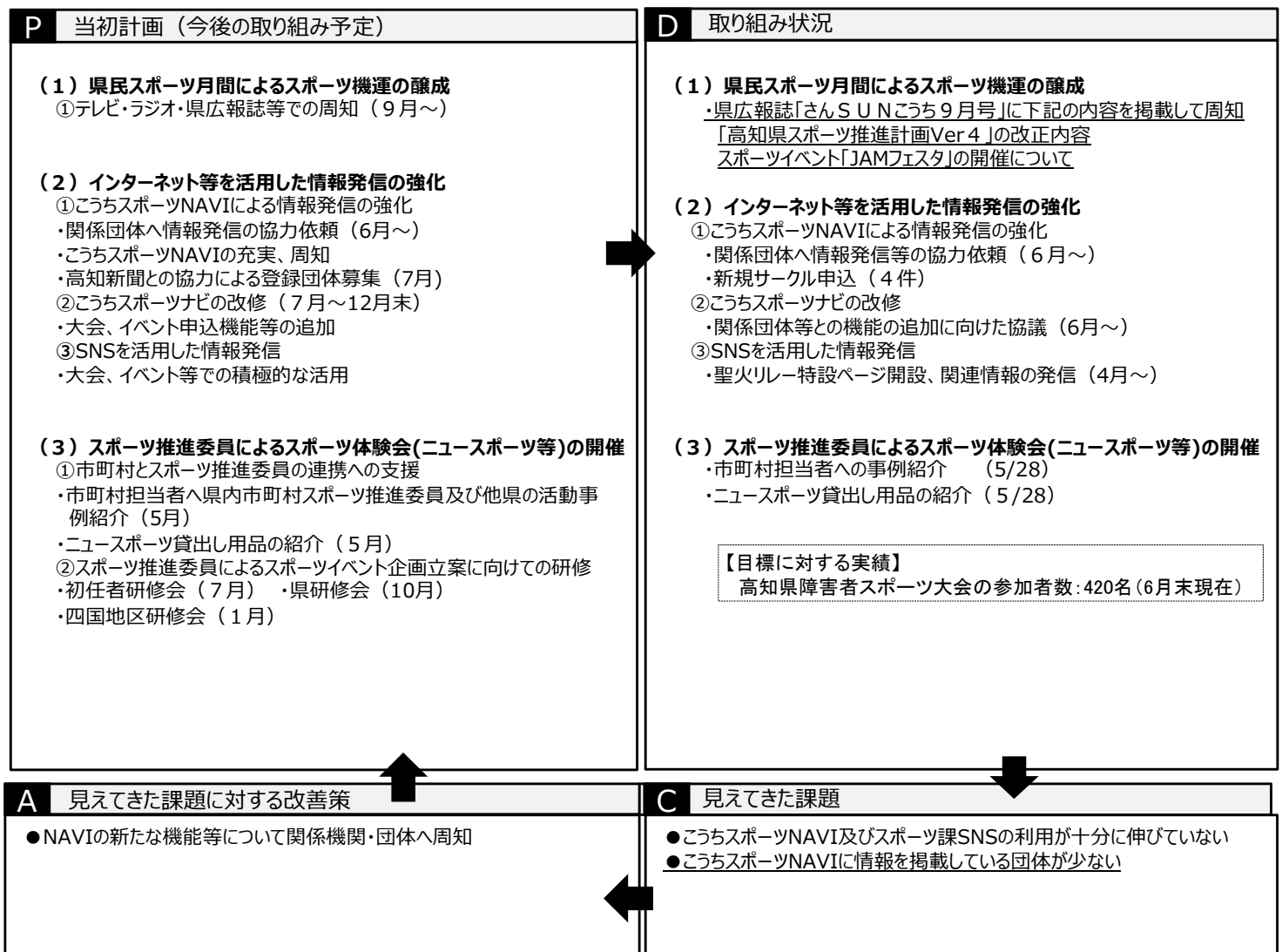
施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを「知る」「始める」機会の拡充 ● 情報発信の強化
事業概要	「知る」機会の拡充 インターネット等を活用した情報発信の強化により、スポーツを「知る」機会の拡充を図りスポーツ参加の拡大につなげる。		

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 「知る」機会の拡充により県民のスポーツへの関心が高まり「みる」「する」「ささえる」スポーツの参加人口が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均値 ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 <ul style="list-style-type: none"> ・65%以上 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：1,700人以上 	- ※令和3年度に実施する「県民の健康・スポーツに関する意識調査」により把握

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 運動・スポーツに関心のない人の割合：13.3%※20代18.2%(H28) ● 運動・スポーツを実施しなかった理由のうち <ul style="list-style-type: none"> ・「運動・スポーツは好きではないから」と回答した者の割合：16.8%(H28) ・「機会がなかったから」と回答した者の割合：27.7%(H28) ・「特に理由はない」と回答した者の割合：30.2%(H28) ● 高知県スポーツ情報総合サイト「こうちスポーツNAVI」運用開始(R1.9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20代のスポーツへの関心が低い ● スポーツの効果や効用等知りスポーツへの関心を喚起する情報発信が必要 ● 「こうちスポーツNAVI」の知名度向上、サイトの充実

令和3年度の取り組み状況



見直し方向性	デジタル化等による効果的な情報発信の強化
---------------	-----------------------------

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P42

事業実施計画

P61

施策の方向性	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを「知る」「始める」機会の拡充 ● 気軽にスポーツに親しむ機会の充実
---------------	--------------------------	----------------	---

事業概要	<p>「始める」機会の拡充</p> <p>障害の有無に関わらず誰もが親しみやすいスポーツ体験イベントの開催や県内企業の従業員を対象とした運動会の開催などにより、スポーツを「始める」機運の醸成を図る。また、地域スポーツハブやスポーツ推進委員等によるスポーツ機会の提供により、スポーツを「始める」機会を拡充し、スポーツ参加の拡大につなげる。</p>
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての年代においてスポーツの参加人口がH28年度より増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合・全国平均値 ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率・65%以上 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：1,700人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合：前年度より減少している。 ■ 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 <p>※R3年度実施予定「県民の健康・スポーツに関する意識調査」により把握</p>

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性の割合（H28） 20代・30代・40代：38.5%/50代・60代：46.8%/70代：58.2% ● 成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性の割合（H28） 20代・30代・40代：27.5%/50代・60代：49.9%/70代：51.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 働き盛りの年代や子育て世代のスポーツ実施率が他の年代に比べ低い ● 気軽にスポーツを楽しめる機会の充実が必要

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 体験型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタの開催（10/3） ・イベント内容の決定に向けた関係団体との調整（～7月中旬） ・学生ボランティア等の手配、会場設営等の委託（7月中旬） ・チラシによる開催周知、募集開始（8月下旬） <p>(2) 企業合同交流運動会の開催（11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催案内（10月） <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会（ニュースポーツ等）の開催</p> <p>①市町村とスポーツ推進委員の連携への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者へ県内市町村スポーツ推進委員及び他県の活動事例紹介（5月） ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介（5月） <p>②スポーツ推進委員によるスポーツイベント企画立案に向けての研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修会（8月） ・県研修会（10月） ・四国地区研修会（1月） 	<p>(1) 体験型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタの開催（10/3） ・イベント内容の決定に向けた関係団体との調整（6月～） ・スポーツJAMフェスタの具体的な内容に関する関係者との協議 <p><u><スポーツJAMフェスタの主な内容></u></p> <ul style="list-style-type: none"> * 親子で一緒に楽しむことができるプログラム * 自分の体の状態を学ぶプログラム * 障害者スポーツ体験プログラム * ラグビー体験プログラム * 運動の基礎的な動きを学ぶプログラム 等 <p>(2) 企業合同交流運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止 <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会（ニュースポーツ等）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者及びスポーツ推進委員への事例紹介 ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介 ⇒ 市町村担当者会延期のため初任者研修会で実施 ・幡多地区スポーツ推進委員合同研修会（7/4） ・令和2年度活動状況調査（～7月末） ・初任者研修会（8/1）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタの関係団体と実施に向けた内容等の検討 ● コロナ禍における他県の活動事例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが気軽に参加できるスポーツJAMフェスタの内容の検討 ● コロナ禍においてスポーツ推進委員の活動が停滞している

見直し方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害の有無に関わらず気軽に参加できるスポーツ機会の拡充
---------------	---

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

施策の方向性 (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み ● 地域における子どものスポーツ環境づくり ・スポーツの裾野拡大に向けた取組の充実 ・子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援
事業概要 地域における子どものスポーツ環境づくり 誰もが参加しやすいスポーツ体験会等の開催や、障害者スポーツセンターや地域のスポーツ拠点で子どものスポーツの空白を埋める取組、並びに地域のスポーツ指導者の育成を図る取組の支援する。	

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
● 県内の児童・生徒が障害の有無に関係なく、いきいきと自分の適性に合ったスポーツに取り組む事ができている。	● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組：5件 ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数：6団体 ● マッチングプログラムの参加者：890名 ● 障害者が参加できるイベントや大会が増えている。 ● スタートコーチ資格取得者：100名 ● 地域部活モデル事業等数：2	● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組：4件 ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数：5団体 ● マッチングプログラムの参加者：840名 ● 障害者が参加できるイベントや大会が増えている ● スタートコーチ資格取得者：30名 ● 地域部活モデル事業等数：2

現状	課題
● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組【R2：1件】⇒R3：2件 ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数【R2：5団体】⇒R3：5団体 ● マッチングプログラムの参加者【R2：780名】 ● スポーツ教室やイベントへの参加者が限定的 ● スポーツ少年団や民間クラブチームでは、中心的に指導する有資格者 の他、資格を持たない地域の人材や保護者がサポート的に指導している ● 地域部活モデル事業等数【R2：0件】⇒R3：1件	● スポーツの裾野の拡大や、子どものスポーツ実施につながる取り組みが必要 ● 人口減等により、運動部活動やスポーツ少年団などに所属する子どもが少なくなっており、今後の活動への影響が懸念される ● 高知市以外では特に団体競技において部活動数の減少が見られる ● 障害者が活動できるチームや団体は、高知市周辺に集中しており、障害者が身近な地域でスポーツ活動ができる環境が十分でない

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
(1) スポーツの裾野拡大に向けた取組 ① 運動やスポーツが好きな子どもを増やす取組の充実 ・親子で参加できるイベントの開催 ・適正に応じたスポーツに出会う機会の提供 ・指導者研修の充実 (2) 子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援 ① 子どものスポーツの空白を埋めるための環境づくり ・市町村関係者との課題の共有 調査表とヒアリングによる市町村の事態把握 ・地域の実情に応じた取組の方向性の確認 ・取組への支援 ② 運動部活動の充実・継続ができる環境づくり ・合同部活動の実施や地域部活動モデル事業の実施に向けた取組 ・高等学校振興に向けた学校運動部活動の取組への支援 (3) 障害児のスポーツ機会の充実 ① 障害児が気軽にスポーツに参加できる環境づくり ・障害者スポーツセンターと連携した障害児のスポーツ環境づくり ・地域のスポーツ拠点等による障害児のスポーツ環境づくりへの支援	(1) スポーツの裾野拡大に向けた取組 ① 運動やスポーツが好きな子どもを増やす取組の充実 ・スポーツJAMフェスタの開催 (10/3) 準備 イベント内容の決定に向けた関係団体との調整 (6月～) ・マッチングプログラムの実施に向けた調整 マッチングプログラムⅠ…親子で運動に親しむプログラム マッチングⅡ…自分に合った競技を見つけるプログラム ・競技団体が主催するスポーツ体験会の広報協力 (1団体) ・オリンピックによるフェンシング体験教室 (仮名) 実施に向けた関係者との協議 計3回 ・指導者研修 スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会 計2回 計16人参加 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者研修会 計1回 計62名参加 (2) 子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援 ① 子どものスポーツの空白を埋めるための環境づくり ・市町村関係者との課題の共有 市町村関係者との課題の共有に向けた調査用紙の配布 (7/1) 市町村のスポーツを取り巻く環境等の調査表作成 (8月) ② 運動部活動の充実・継続ができる環境づくり ・合同部活動や地域部活動モデル事業の実施に向けた取組 (土佐町でのモデル事業【剣道部】) 土佐町との国費委託事業の再委託契約完了 (5月) 地域部活動の実施 (7月～) (3) 障害児のスポーツ機会の充実 ① 障害児が気軽にスポーツに参加できる環境づくり ・障害者スポーツセンターとの定例会の開催による情報共有 (2回)

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
● マッチングプログラムの参加者募集に関して、チラシやSNSを活用するとともに、学校やスポーツ団体等の協力を得て、情報を提供する ● くろしおキッズについては、これまで行っている基本的な感染症対策に加え、子どもたちの適性を引き出す魅力あるプログラムを実施する ● 指導者講習会については、リモートによる講習会の実施や予備日の確保 ● 各市町村のスポーツを取り巻く環境を把握するための調査を実施 ● 「これからの部活動の在り方検討会」において、合同部活動及び地域部活動に関する課題の洗い出しや課題解決に向けた対策について協議を進める ● 特別支援学級に在籍する子どもへの情報提供の在り方を検討	● マッチングプログラムの参加者増に向けた情報発信の強化が必要 ● 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限され、くろしおキッズのモチベーションの低下が見られた ● 新型コロナウイルス感染症の影響で指導者講習会の開催が遅れている ● 各市町村毎の現状やニーズについて詳細な把握が必要 ● 学校部活動の地域への移行については、指導者や安全面の確保、生徒や保護者の理解がまだ十分に得られていない ● 特別支援学校との連携は進んでいるが、特別支援学級の生徒へのアプローチができていない

見直し方向性	■ マッチングプログラムにおける保護者をターゲットにした効果的な広報 (SNSの活用の工夫) ■ くろしおキッズにおける内容の充実及びリモート導入等による安心・安全なプログラムの実施 ■ コロナ禍でも継続して指導者が養成できる機会の確保 ■ 地域のニーズに応じた子どものスポーツ活動機会の拡充 ■ 生徒や保護者、学校、地域のニーズに応じた合同部活動及び地域部活動の推進
---------------	--

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(3) 障害者のスポーツ参加機会の拡充	主要な取り組み	・障害者スポーツの活動支援 / ・障害者が参加しやすい環境づくり ・スポーツ情報の活用の充実 / ・障害者スポーツの理解啓発の推進
--------	---------------------	---------	--

事業概要
 障害者スポーツ推進事業
 高知県社会福祉協議会をはじめ、市町村やスポーツ団体、学校、福祉関係者など、障害者スポーツの関係者が連携する仕組みづくりやスポーツ機会の拡充を図ることにより、障害者が身近な地域で安心してスポーツに参加できる環境を創出する。また、障害者スポーツの理解啓発を進め、障害の有無に関わらず誰もが一緒にスポーツを楽しむことができる環境づくりにつなげる。

令和4年度末の目指す姿

- (福) 高知県社会福祉協議会を中心に、関係団体等の支援が充実し、障害者のスポーツ活動が活性化している。
- (福) 高知県社会福祉協議会や地域スポーツハブ等が、学校、競技団体、福祉関係者などと連携を図り、障害者がスポーツに参画しやすい環境が提供されている。
- 各拠点において新たな種目の実施など、障害者のニーズに応じた受け入れが充実する。

令和4年度の到達目標

- 県立障害者スポーツセンターの利用実績が、H29年度比20%増加
- 中央競技団体（NF）登録者数が前年度より増えている。
- 障害者が参加できるイベントや大会が増えている。

令和3年度の到達目標

- 県立障害者スポーツセンターの利用実績が、H29年度比10%増加
- NF登録者数が前年度より増えている。
- 障害者が参加できるイベントや大会が増えている。

現状

- 県立障害者スポーツセンターの利用者数25,055名 (H30) →22,600名 (R元) →17,906名 (R2) ⇒R3:4,831名
- NF登録者数177名 (R元) →146名 (R2)
- 障害のある方が身近な地域で気軽にスポーツ活動を行う環境が十分に整っていない
- スポーツ教室やイベントへの参加者が限定的

課題

- 地域での障害者スポーツをする機会を増やすことが必要
- 障害者スポーツの理解促進が必要
- 障害の有無を問わないスポーツイベントが必要

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)

(1) 障害者スポーツの活動支援

- ① スポーツハブ等と連携し、地域課題の洗い出しを実施
- ② 障害者スポーツコーディネーターを東部、西部に各1名を配置しコーディネート機能の強化を図る
- ③ 障がい者スポーツ指導員の養成を東部地区で実施
- ④ 高知県障害者スポーツ大会の開催
- ⑤ ユニバーサルイベントの開催 (9月～)

(2) 競技力向上支援

- ① 全国障害者スポーツ大会出場選手等へのNF登録コーディネート
- ② 9月末より強化指定選手に競技力向上研修を開催 (全3回)
- ③ 競技性の高い取組への支援 (6月～)

(3) スポーツ情報の活用の充実

- ① スポーツ教室やイベント、大会情報の発信
- ② スポーツ大会の結果の収集・発信、メディアへのパラ選手等の情報提供
- ③ リモートを活用した会議・スポーツ教室 (ダンス) 等の開催
- ④ 特別支援学校高校3年生へのアンケートと住所登録した方へスポーツ教室等の各種案内の送付を年度末に実施 (対象: 中村、若草、山田、日高の特別支援学校)

(4) 障害者スポーツの理解啓発の推進

- ① 学校での障害者スポーツ等体験教室 (20回/年) の実施
- ② 市町村社会福祉協議会と連携した啓発セミナーの開催

(5) 障害者スポーツセンターとの定例会の実施

D 取り組み状況

(1) 障害者スポーツの活動支援

- ① スポーツハブ等と連携し、地域課題の洗い出しを実施
 - ・地域スポーツハブに対し、事業活動に障害者スポーツの活動の計画を提案 (既存9ハブ、新規2ハブ)
 - 4年目を迎える3ハブは今年度事業実施予定
 - ・地域スポーツハブの拠点市町村を訪問し、障害者スポーツの活動の推進について説明 (10市町村)
 - ・障害者スポーツセンターに対して、地域スポーツハブの事業概要及び拠点設置状況を説明 (計2回)
 - ・西部の地域スポーツハブとの協議調整
- ② R3年6月より東部、西部に地域の障害者スポーツコーディネーターを各1名配置
- ③ 障がい者スポーツ指導員養成事業委託契約を締結 (5月)
 - ・西部地域の障がい者スポーツ指導員に対して研修を実施 (7/4)
- ④ 第23回高知県障害者スポーツ大会
 - ・フライングディスク競技要領作成 (分散開催9/26、12/4、1/23)

(2) 競技力向上支援

- ① パラカヌー1名、知的陸上1名のNF登録支援
- ② 特別強化選手5名指定
 - ・特別強化選手1名を追加決定
 - ・強化費: 団体6チーム、個人21名指定

(3) スポーツ情報の活用の充実

- ① 障害者スポーツセンター便り、HP、県のスポーツNAVI等を活用
- ② 東京2020パラリンピック選手に係る情報の提供
- ③ RSPを関係団体との各種会議等のリモート開催で活用

(4) 障害者スポーツの理解啓発の推進

- ① 体験会: 1回 (嶺北高校で開催)
 - ・体験会等の開催に向けた市町村社会福祉協議会との調整

(5) 障害者スポーツセンターとの定例会の実施

- ・5/7県障害者スポーツ大会について、6/8今年度の計画について
- ・7/5第1四半期の実績について

A 見えてきた課題に対する改善策

- 関係団体と協議し、具体的な目指す姿と目標を明確にしたうえで、定期的に進捗管理を実施
- 競技性の高い取組を目指す選手を発掘する取組を検討
- スポーツ情報の収集・発信する体制づくりに向けて既存の団体やチームからヒアリングを行う
- 理解啓発の取組のリモート実施を検討

C 見えてきた課題

- 目指す姿や目標 (指標) が関係団体と十分に共有されていない
- 障害当事者とスポーツ現場との具体的なマッチングが十分に進んでいない
- 強化対象選手がまだ少ない
- スポーツ大会等の結果を収集できるチームや団体が限定的
- 理解啓発の取組がコロナ感染症の影響で遅れている

見直しの方向性

- 地域コーディネーターによる活動支援の充実
- 競技者の掘り起こし及び競技者への支援の充実
- スポーツ情報の収集・発信体制づくり
- 障害者スポーツの理解・啓発の取組のさらなる充実

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(7) スポーツに親しむ場の確保	主要な取り組み	リモートでスポーツ教室や研修等ができる環境の整備
--------	------------------	---------	--------------------------

事業概要	リモートによるスポーツサービスの提供 高知県スポーツ科学センターなど、県立のスポーツ施設や地域のスポーツ施設などを中心に、リモートによるスポーツ教室や実技指導の配信等を行うことができる環境を整備し、ウィズコロナ及びアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を効果的に推進する。
------	---

令和4年度末の目指す姿
◆ウィズコロナ及びアフターコロナの社会においても、県内各地でリモートを活用したスポーツサービスなどが提供され、時代に合ったスポーツ参加機会が拡充している。

令和4年度の到達目標
●リモートによるスポーツ参加延べ人数→2,640人(地域スポーツクラブ)

令和3年度の到達目標
リモートによるスポーツ参加延べ人数→2,400人/年(地域スポーツクラブ)

現状
◆総合スポーツクラブ等16施設にリモート機器を設置した。 ◆リモートによるスポーツ参加延べ人数 (R3:7月末) ・地域スポーツクラブの取組：666人 ・地域スポーツクラブ以外の取組：4,313人 合計4,979人

課題
◆リモート機器設置済み施設の広報が必要 ◆リモート機器を活用している団体等の活用事例を情報共有する場が必要 ◆リモート機器の使用方法について知識・経験の不足があり、積極的な活用につながらない ◆リモート機器を活用したスポーツ教室等の開催ノウハウが不足している ◆使用方法についての知識・経験を蓄積するため、リモートでの会議、研修、小規模イベントの開催を促進する必要がある

令和3年度の取り組み状況

P	当初計画 (今後の取り組み予定) (1) リモートの活用 ①RSP情報交換会の開催 →市町村担当者、育成塾等でリモート機器設置施設と取組内容について広報を行う。(5/28) ②活用実績の定期確認 (毎月) ③RSP設置団体のリモートを活用したイベント情報等の情報共有
---	---

D	取り組み状況 (1) リモートの活用 ①RSP情報交換会の開催 ・第1回情報交換会開催 (4/9) ②RSP活用実績 (延べ人数) (単位：人)
---	---

月	区分	リモート活動への参加人数 (延べ人数)				
		みる	する	ささえる	小計	合計
4月	地域スポーツクラブの取組	0	0	9	9	26
	地域スポーツクラブ以外	0	0	17	17	
5月	地域スポーツクラブの取組	0	0	21	21	136
	地域スポーツクラブ以外	0	0	115	115	
6月	地域スポーツクラブの取組	0	29	0	29	102
	地域スポーツクラブ以外	0	28	45	73	
7月	地域スポーツクラブの取組	0	607	0	607	4715
	地域スポーツクラブ以外	3913	105	90	4108	

<R3年度の主な取組 (予定を含む) >
 ・SSCサポートスタッフを対象とした指導者研修
 ・地域スポーツクラブによるリモートによる促進委員会
 ・県立弓道場におけるリモート体験教室
 ・障がい者スポーツ指導者会議
 ・障害者福祉施設等へのリモートスポーツ教室の配信
 ・高知県少年柔道大会のインターネット配信 (予定)
 ③RSP設置団体のリモートを活用したイベント情報等の情報共有
 ・イベント開催団体へ開催方法のヒアリング
 ・イベント情報及びRSP活用情報を周知 (6/15)
 ・各団体に現状の課題と取り組み状況を確認 (7月)

A	見えてきた課題に対する改善策 ●設置施設を所管する団体や市町村等に対して、スポーツイベントや大会等における積極的なリモート活用を促進 ・設置施設におけるリモートを活用した事例や操作方法が他の施設や市町村等に共有され、さらなる活用につながるよう、設置施設等に対して、月毎の活動事例等の情報を提供 ・リモート会議の積極的な開催により、操作方法や運用方法に関する助言などを行い、設置施設におけるリモート操作方法の習得を促進 ・大学関係者や有識者による取組のブラッシュアップ (設置施設関係者等による定期的な情報交換会の開催)
---	---

C	見えてきた課題 ●設置施設において、より幅広い活用 (する・見る・ささえる) がなされるように、操作方法や活用事例を共有するなどの支援が必要 ●設置施設を所管する団体等の連携による活用を促進するため、連携する場合のルールづくりが必要
---	--

見直しの方向性	■リモートによるスポーツ活動の拡充 ○設置施設へのリモート活用事例のさらなる周知 ○リモート機器の整備施設拡大の検討 ○リモートによる県外の講師や団体の積極的な活用促進
---------	---

見直しの方向性	■効果的なリモート活用に向けた検討・調整 ○リモートによるスポーツ参加人口の拡大に向け、複数の施設で連携して活用するためのルールづくり ○個人情報適切に管理するためのセキュリティ対策の周知 ○県内関係者間の情報共有の徹底
---------	---

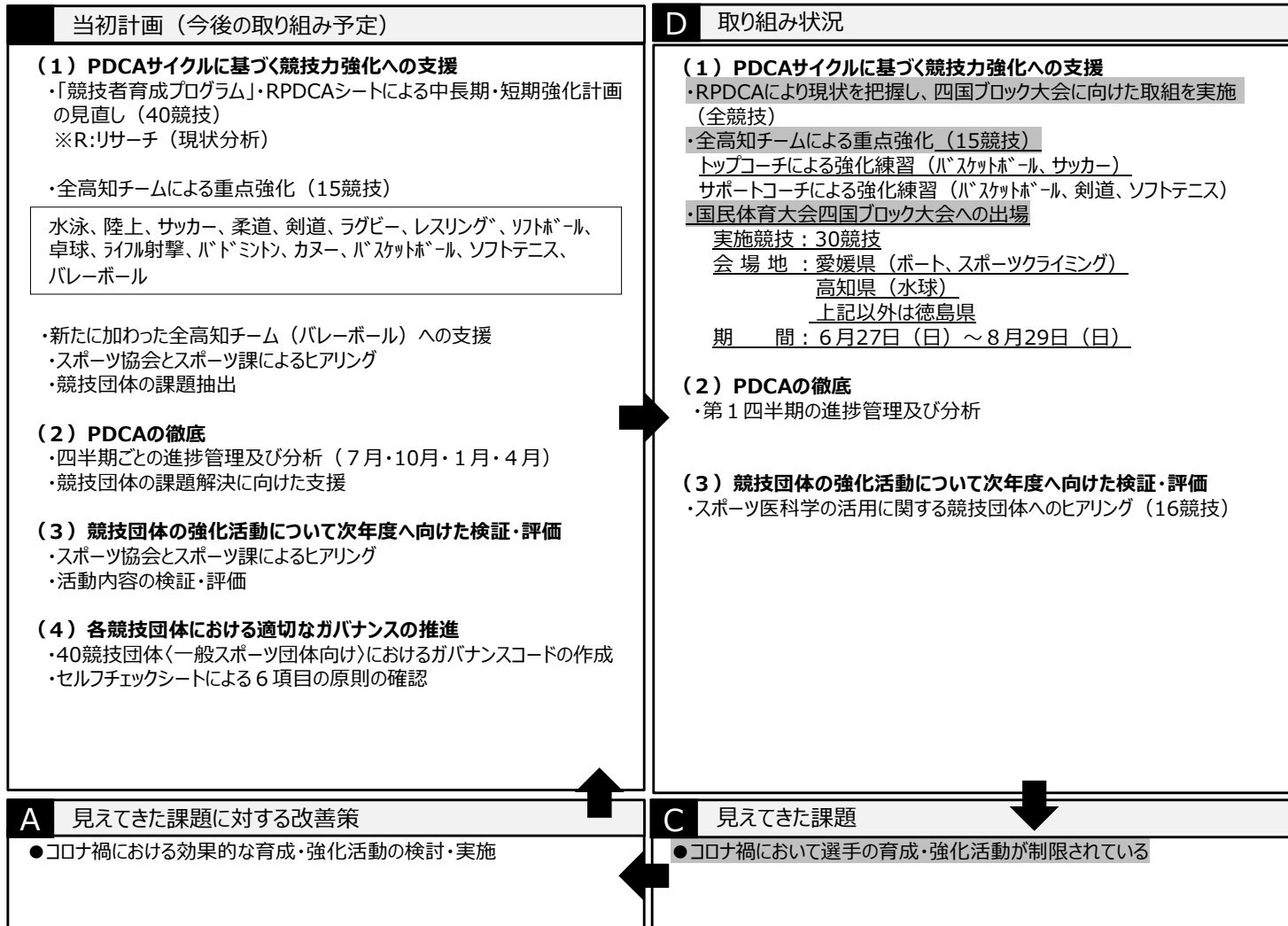
施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●さらなる競技力向上に向けた強化 ●競技団体の実情に応じた効果的な強化 ●全高知チームによる重点強化 ●選手強化におけるPDCAの徹底
---------------	-----------------------------	----------------	--

事業概要	競技スポーツ選手育成強化事業 競技団体が各々の実情に応じて、効果的な強化や全高知チームによる重点強化、選手強化におけるPDCAの徹底を着実に進めることができるよう、県スポーツ協会が各競技団体を多方面からサポートすることを支援する。		
-------------	---	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●各競技団体に系統的な育成強化ができる体制が構築され、国民体育大会をはじめとする全国大会等で、安定した成績を残す競技団体が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数（18競技） 	<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数（13競技）

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数（H30）10競技⇒（R元年度）10競技⇒（R2年度）中止 ●国民体育大会において安定した入賞実績を残す競技団体が少なく、固定されている 	<ul style="list-style-type: none"> ●選手強化において、競技団体におけるPDCAサイクルの取組についての評価・改善を徹底する必要がある ●各競技団体において、競技者育成プログラムに基づきジュニアから系統立てた一貫指導を行う必要がある

令和3年度の取り組み状況



見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 競技団体の組織的な活動のさらなる充実 ○ RPDCAの徹底 ○ 全高知チームの拡充 ○ 競技ごとの特性に応じた効果的な育成・強化の実施
----------------	---

施策の柱 2 競技力の向上

施策の方向性	(2) 系統立てた育成・強化体制の確立	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニア選手育成 ●スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】
事業概要	<p>・高知県バスウェイシステム事業 【マッチングプログラム (I-1、I-2、II-1、II-2) 高知くろしおキッズ・ジュニア】</p> <p>・幼児から小学低学年の子どもへ運動やスポーツを行う機会を提供したり、小学中・高学年の児童へ自分に合った競技を見つめられる測定会やスポーツ体験会を実施するなど、体を動かす機会や専門的にスポーツを始める機会を提供する。</p> <p>・体力運動能力に優れた小学生を発掘し、運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来の有望選手を発掘、育成していく取り組み。併せて競技団体へつなげる活動も行う。</p>		
令和4年度末の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●自分に合ったスポーツに出会う機会が増えている ●種目転向が円滑に行われている ●各競技団体において誰でも挑戦できるシステムが確立されている ●全国大会で優秀な成績を取る選手が増加している 	令和4年度の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●マッチングプログラムの参加者が890名 ●キッズ応募者が180名以上 ●キッズの体力A判定が7割以上 ●キッズ修了生が国際大会へ3名出場
令和3年度の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●マッチングプログラムの参加者が840名 ●キッズ応募が180名以上 ●キッズの体力A判定が5割以上 ●キッズ修了生が国際大会へ2名出場 	現状	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の適性に合った競技を見いだす機会が少ない ●本事業の認知度が低い ●キッズ参加者の運動能力の向上 (R元年度の値⇒2学年上の体力尺度で比較してA判定が4割)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ体験教室の実施への工夫 (マッチングプログラム) ●育成プログラムの質の向上 (くろしおキッズ・ジュニア) ●広報活動の工夫及び強化 (マッチングプログラム、くろしおキッズ・ジュニア) 		

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) マッチングプログラム (定員: R2年度780名(参加者500名) R3年度⇒840名) 【実施時期】9月末から11月末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング I …親子で運動に親しむ。年中から小学2年生が対象 I-1…日本トップリーグ機構主催『あそびバ!』を3地域で実施 (150名) I-2…対象年代にあった運動プログラムを3地域で実施 (180名) ・マッチング II …自分に合った競技を見つける。小学3～6年生が対象 II-1…スポーツ能力発見協会主催の体力測定会の実施 (300名) II-2…競技体験教室の実施。3地域で開催 (210名) <p>①競技との出会いを増やす ・郡部地域などで小規模のマッチングプログラム実施に向けた検討</p> <p>②広報活動の工夫及び強化 ・インターネットやツイッターなどSNSを活用した情報発信 ・チラシ、ポスターなどの工夫 ・チャレンジャー参加者への継続的な情報提供</p> <p>③スポーツ体験教室の実施へ向けての工夫 ・スポーツハブなどスポーツ関係団体及び競技団体へヒアリング ・地域特性に合う種目の選定</p> <p>(2) 高知くろしおキッズ・ジュニア 〔R2年度募集定員20名程度 選考会応募者数167名〕 〔R3年度在籍数 キッズ: 61名 ジュニア: 5名〕</p> <p>【実施回数】年間18回 (※ジュニアは年間6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容…競技体験、運動能力・知的能力の向上を目的とした育成プログラム <p>①広報活動の工夫及び強化 ・活動内容の情報発信を通して、ブランド化を図る (SNSの有効活用、高知くろしおキッズユニフォームの作成に向けての検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ・ジュニアの大会成績等の情報共有・発信 ・マッチングプログラムの参加者にチラシ等の配布 <p>②育成プログラムの質の向上 ・競技団体と連携した競技プログラムの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅でのトレーニングの充実 (トレーニング動画の提供) ・プログラム討論会の実施 ・アンケートの実施 (8月、年度末の2回) 	<p>(1) マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マッチングプログラム I (対象: 年中～小2) 計6回 ・親子で運動を楽しむプログラム ※東部・中部・西部各2回 ○マッチングプログラム II (対象: 小3～小6) 計4回 ・自分にあった競技を見つけるための体力測定や競技体験 ※東部・西部各1回、中部2回 <p>(2) 高知くろしおキッズ・ジュニア</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開始 4/25 (認定式) *スポーツ庁のガイドライン (新型コロナウイルス感染症の対策) を遵守しながら実施 ●実施回数 (8/10現在) ・4年生5回・5年生4回・6年生5回・中学生2回 ●実施種目 (8/10現在) ・トランポリン/飛び込み/ライフル射撃/ハンドボール/ラグビー/知的プログラム/トレーニングプログラム (計7種目) ●延期 5/8⇒6/19⇒10/9 (トランポリン) 5/8⇒6/5⇒8/21 (ダンス) 5/15⇒6/26⇒10/9 (トランポリン) 8/8⇒調整中 (知的プログラム) ●育成プログラム実施基準の変更 新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインの改訂 ⇒育成プログラム実施基準を県内外の公式戦準ずる扱いに変更 <p>①広報活動の工夫及び強化 ・高知くろしおキッズ・ジュニアのHP運営 ・SNSの活用 ・高知くろしおキッズユニフォーム作成方法の検討中 ・高知ファイティングドッグス球団株式会社との意見交換会の実施</p> <p>②プログラムの質の向上 ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信 ・競技団体とプログラム内容の情報共有</p>
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●講師向けアンケートを実施し、プログラム検討会に反映 ●マッチングプログラムの参加者募集に関して、チラシやSNSを活用するとともに、学校やスポーツ団体等の協力を得て、対象者に情報を提供する ●くろしおキッズについては、これまで行っている基本的な感染症対策に加え、密にならないようプログラムの工夫をしながら、子どもたちの適性を引き出す魅力あるプログラムを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響により、育成プログラムの内容(種目、内容、回数等)を見直す必要がある ●マッチングプログラムの参加者増に向けた情報発信の強化が必要 ●新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限され、くろしおキッズのモチベーションの低下が見られた

見直しの方向性

- マッチングプログラムにおける保護者をターゲットにした効果的な広報 (SNSの活用の工夫)
- くろしおキッズにおける内容の充実及びリモート導入等による安心・安全なプログラムの実施

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性	(3) 指導者等の育成及び受け入れの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大及び指導力向上 ・ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大・指導力向上
---------------	----------------------	----------------	---

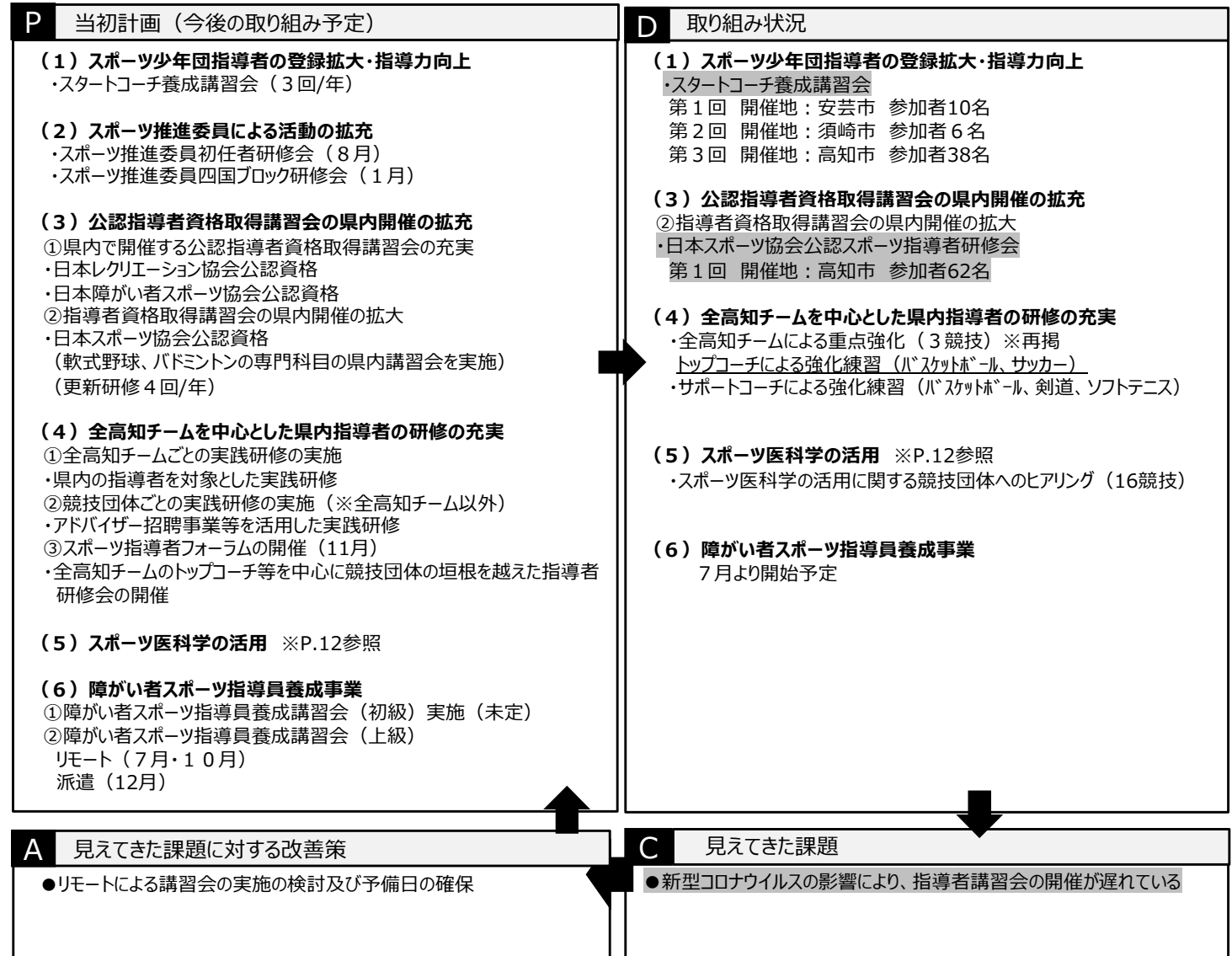
事業概要	<p>指導者育成事業 (スタートコーチ養成講習会・公認スポーツ指導者資格養成講習会・スポーツ指導者フォーラム等)</p> <p>スポーツ少年団をはじめ、総合型地域スポーツクラブ・学校運動部活動において、必要最低限度の知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する「スタートコーチ」など、公認スポーツ指導者資格取得者の増加を目的とする取り組みに対して支援する。また、スポーツ推進委員の研修や障害者スポーツの指導者の育成を行う。</p>
-------------	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●選手の年齢・発達段階・技術の習熟度等を踏まえた柔軟な指導力や科学的・合理的な指導力を有する質の高い指導者が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチ資格取得者100名 ●日本スポーツ協会公認指導者数 (スタートコーチ除く) 1,500名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者数 初級150名 中級80名 上級19名 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチ資格取得者30名 ●日本スポーツ協会公認指導者数 (スタートコーチ除く) 1,400名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者数 初級153名 中級63名 上級20名

現状
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ少年団や民間クラブチームでは、中心的に指導する有資格者の他、資格を持たない地域の人材や保護者がサポート的に指導している ●スタートコーチ資格取得者 (R3年度から実施) ⇒R3:54名 ●日本スポーツ協会公認指導者 (コーチ・教師) 1,361名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者 190名

課題
<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチを増やす必要がある ●県内で公認指導者資格が取得できる講習会は限定されるため、県外の講習会に参加する必要があり、経費や受講日数の確保等により、有資格者の増加につながりにくい ●県内の指導者の指導力を底上げする必要がある

令和3年度の取り組み状況



見直しの方向性	<p>■コロナ禍でも継続して指導者が養成できる機会の確保</p>
----------------	---

施策の柱 **2** 競技力の向上

高知県スポーツ振興の
強化ポイント

P50

事業実施計画

P86

施策の方向性	(4) スポーツ医学の効果的な活用	主要な取り組み	●高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学サポートの強化
---------------	-------------------	----------------	-------------------------------------

事業概要	スポーツ科学センター管理運営委託事業 スポーツ現場において行われる、競技力向上や健康の維持増進に向けた技術練習やトレーニングが、年齢、体力、競技特性に応じて、合理的かつ効率的に行われるよう、スポーツ医学の見地から様々なサポートを行う。		
-------------	---	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●選手にスポーツ医学のサポートが行き届き、効果的な育成・強化が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学を積極的に活用する競技団体が増加する(41団体) ●SSC利用者の増加(前年度比10%増) ●SSCの各種サポートを利用したアスリートが成果を実感している(アンケートによる実感率80%以上) ●県内のアスリートのスポーツ障害が減少している(メディカルチェック要再検査以上の割合が30%以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学を積極的に活用する競技団体が増加する(30団体) ●SSC利用者の増加(前年度比10%増) ●SSCの各種サポートを利用したアスリートが成果を実感している(アンケートによる実感率80%以上) ●県内のアスリートのスポーツ障害が減少している(メディカルチェック要再検査以上の割合が35%以下)

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●活用する団体数：(R1) 11団体⇒(R2) 11団体⇒R3: 6 団体 ●体力測定：(R1) 652名⇒(R2) 521名⇒R3:109名 ●各種サポート：(R1) 88件⇒(R2) 231件 ●アンケート実感率：(R2) 93.3% ●スポーツ障害(要再検査以上割合)：(R1) 47%⇒(R2) 36.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ●サポート増により、測定とサポートが同じ空間で重なる場合があり、質の低下が懸念される ●SSCのサポートを行うスペースの確保 ●SSCスタッフの資質の向上及び、専門性を有するスタッフの増員 ●競技団体(競技指導者)のスポーツ医学を活用する意識の醸成

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用についての全高知チームを中心としたヒアリングの実施及び利用促進に向けた働きかけ ・SSC、スポーツ協会、スポーツ課の合同ミーティングの実施(適宜) ・専門体力測定を踏まえたサポートの実施 <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技別コーディネーター(各競技団体に配置される医学担当)の育成(年間2回の講習会を実施予定) ・サポートチームスタッフ(スポーツ医学面から選手をサポートする各分野の専門スタッフ)の資質向上及び育成(年間8回の研修を実施予定) ・地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの資質向上(年間5回の研修を実施予定。実施地域検討の為、地域スポーツハブを中心としたヒアリングの実施(適宜)) ・上記研修会等のリモートでの並行実施 <p>(3) 研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによるスポーツ医学情報(動画を含む)の発信 <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ・年間2回の実施(7月、2月) 	<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用についての全高知チームを中心としたヒアリングの実施及び利用促進に向けた働きかけ ヒアリングの実施 バasketボール(5/13)、ライフル射撃(5/15) 水球(5/18)、卓球、レスリング(5/20)、バドミントン(5/25) ソフトボール(5/26)、カヌー(5/27)、バレーボール(5/28) 剣道(6/1)、陸上競技(6/11) ・SSC、スポーツ協会、スポーツ課の合同ミーティングの実施(適宜) 合同ミーティングの実施(4/14、7/20) ・専門体力測定を踏まえたサポートの実施 体力測定の実施 4月(23名) 5月(23名) 6月(41名) 7月(23名) <u>(一般11名、専門99名) 合計110名</u> 各種サポートの実施(外部サポートを含む) 4月(93名) 5月(42名) 6月(62名) 7月(109名) <u>【コンディショニング234名(123回)、栄養29名(1回)、メンタル2名(2回)、映像41名(4回)】(サポートトータル306名、130回)</u> <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒアリングの実施(須崎市5/12、その他アンケートの実施) ・土佐清水市(8/29予定) <p>(3) 研究・情報活用事業</p> <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回高知県スポーツ科学センター推進協議会(7月28日)

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学の有効性を示す取り組みを考案する ●研修・支援事業における効果的な研修内容の検討・実施 ●参加者増に向けた効果的な広報活動の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●競技団体等の指導者にスポーツ医学の重要性や有効性が十分に浸透していない ●利用者数全体は増加傾向にあるが、スポーツ医学の活用の定着が一部の競技に限られているとともに、活用している団体においても、頻度や内容が限定的。 <ul style="list-style-type: none"> ・必要性が十分に理解されていない ・競技の特性に応じた具体的な活用方法がわからない ●スポーツ医学の活用拡大のためには、SSCの体制強化が必要。

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ医学のさらなる効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ○競技団体におけるスポーツ医学活用モデル事業の実施 ○競技ごとのスポーツ医学活用事例の紹介(SSCスタッフ→競技団体へ紹介) ○ウェアラブル機器の活用 ■高知県スポーツ科学センターによる研修内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○競技団体、学校運動部活動、スポーツ団体と連携したニーズに応じた研修会の実施 ○リモートによる研修会の拡充 ■高知県スポーツ科学センターの体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ○SSCスタッフの資格取得促進 ○SSCスタッフの育成プログラムの作成・実施 ○日本スポーツ振興センターとの連携強化(連携事業の実施) ○サポート体制の充実
----------------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ●プロスポーツのキャンプや大会の誘致／高知龍馬マラソンの開催
--------	-----------------------	---------	--

事業概要	<p>プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本を代表するプロスポーツである野球（NPB）、サッカー（Jリーグ）、ゴルフのキャンプや大会を誘致することやアマチュアスポーツの合宿や大会の誘致により、県民のスポーツに対する機運の醸成を図るとともに、県外からの入込客数の拡大を図り、地域経済の活性化につなげる。また、キャンプ地としての認知度を高めることで、アマチュアスポーツ合宿の獲得にもつなげる。 ●アマチュアスポーツ合宿については、各関係団体を通じて、県内外のキーパーソンのネットワークを活用するなど、強豪チームを誘致することで競技力の向上につなげる。
------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県外からの誘客が期待できるプロスポーツのキャンプやプレシーズンマッチ、各公式戦等が増加している。 ●各市町村や、関係団体、県観光コンベンション協会と連携し、波及効果の高いアマチュア合宿・大会の誘致が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数14万人 ※施策の柱3基本目標 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数13万人 ※施策の柱3基本目標

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●プロスポーツ合計：28,902人（R2年度実績） ①プロ野球（26,510人） 秋季キャンプ 0チーム（11月） 春季キャンプ 2チーム（2月） プレシーズンマッチ 2チーム（2月） ②Jリーグ（2,392人） 7チーム（1月～3月） ③プロゴルフ（0人中止、無観客）男女各1回（11月、3月） ●アマチュアスポーツ合宿・大会入込客数合計：5,651人 	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの入込客数を呼べる、新規球団等の誘致や、新しい大会の開催 ●Jリーグキャンプの県外からの入込客数が少ない ●高知県アマスポーツ合宿支援助成金（KVCA）の更なる周知

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）
<p>(1) プロスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プロ野球 <ul style="list-style-type: none"> ・新規球団を含め、各球団への誘致活動 ②Jリーグ <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果のある、Jリーグチームへのキャンプ誘致活動 ③プロゴルフ <ul style="list-style-type: none"> ・2大会の継続開催に向けた協議 ④ラグビー <ul style="list-style-type: none"> ・新規チームの誘致活動 <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ターゲットを絞った誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県の強みを生かした合宿誘致 ・強豪校やトップチームとの実践練習につなげる合宿誘致 ・交流を目的とした合宿誘致及び大会の参加促進 ②関西圏を中心とした誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・関西の旅行会社や大阪観光局等と連携した関西圏からの合宿誘致 ・中四国などのマイクロツーリズム活性化を意識した誘致

D 取り組み状況
<p>(1) プロスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プロ野球 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテ高知県フェア（8/15） ・西武ライオンズ高知県フェア開催（8/24） ・阪神タイガース高知県・安芸市フェア開催（8月予定） ・各球団訪問予定 ②Jリーグ <ul style="list-style-type: none"> ・アルビレックス新潟ミニキャンプ実施（4/22,23） ・横浜Fマリノス高知県フェア開催（5/30） ・アルビレックス新潟高知県フェア開催（6/26） ③プロゴルフ <ul style="list-style-type: none"> ・カシオワールドオープンゴルフ関係者協議（4/2） ④ラグビー <ul style="list-style-type: none"> ・N T Tコミュニケーションズとのキャンプ誘致について協議（4/1） ・ラグビートップリーグ開催（4/3） ・N T TコミュニケーションズV S 宗像サニックス ・近鉄ライナーズとのキャンプ誘致について協議（4/8） ・パナソニックワイルドナイツとの協議（7/6） <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな合宿誘致に向けた協議（合宿助成金の説明含む） ・県レスリング協会（4/23） 中央高校ハンドボール部（4/23） ・土佐町企画推進課（5/17） 中央高校女子バスケ部（6/9） ・須崎市生涯学習課（6/21） 岡豊女子バスケ部（6/9） ・安芸中高陸上部（6/30） <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【目標に対する実績】 県外からのスポーツによる入込客数：3,391名（7月末現在）</p> </div>

A 見えてきた課題に対する改善策
<p>(1) プロスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染状況に応じた対応策を、関係者と協議・検討 <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たに新設したバス利用へ助成制度や新規団体誘致へのインセンティブ制度の周知 ●県内競技団体等のキーパーソンから得た情報をKVCAや大阪観光局等と情報共有するとともに、積極的な誘致活動を展開する ・新設したバス利用への助成制度や新規団体誘致のインセンティブ制度等による誘致活動の強化 ・県内全域のスポーツ施設や宿泊施設等を組み合わせた合宿の提案

C 見えてきた課題
<p>(1) プロスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響により試合中止及び無観客による県外入込客数の減少が見込まれる <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響により県内での合宿の減少が見込まれる ●新たな合宿の誘致については、主な県立スポーツ施設や高知市周辺のスポーツ施設だけでは受け入れに限界がある

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ターゲットを絞った誘致のさらなる強化 <ul style="list-style-type: none"> ○既存の合宿の継続に向けてR3年度までに合宿を行った団体へのPR活動の実施 ○新たなターゲットの掘り起こしによる新規団体の誘致 ■市町村と連携したアマチュアスポーツ合宿の受け入れ強化 <ul style="list-style-type: none"> ○県内スポーツ施設の有効活用
---------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ・アマチュアスポーツの大会・合宿の誘致 ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進
---------------	-----------------------	----------------	---

事業概要	自然環境を生かしたスポーツイベントの開催促進 本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、環境整備やプロモーションを推進する。
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県内全域で自然環境を生かした多様なスポーツイベントが行われ、地域が活性化されている。 ●県内のスポーツアクティビティに多様性があり、誘客の促進ができています。 ●関係各所と連携し、スポーツによる滞在型観光につながっている。 ●県内からのインナーブランディングが活性化され機運醸成が図れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数14万人 ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベントが増えている。 ・大会数 5 種目数 3 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数13万人 ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベントが増えている。 ・大会数 4 種目数 2

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●R2年県外からのスポーツによる入込客数 40,074人⇒R3:3,391人 ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベント数(自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業助成金を活用した大会等)大会数:1 種目数:1 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●スポーツを起点とした経済・地域の活性化

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ・各市町村、協議会・各スポーツ団体等へスポーツイベントの開催状況やニーズ等について把握・検討</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ・新設イベントの支援 ・自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業助成金要綱 (KVCA) について、より活用しやすくなるよう改正を含め関係機関と検討</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ・ぐるっと高知サイクリングロードのソフト・ハード両面の磨き上げ ・スポーツを起点とした交流人口の拡大と県内からのインナーブランディングを図る仕組みづくり ・意見交換会の開催 (高知県の自然環境を生かしたスポーツツーリズム推進に関するランドデザインの (案) 作成・実行に向けて県内7名のアドバイザーとともに意見交換を実施)</p>	<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ・予土県境地域連携実行委員会総会 (書面開催) を実施 (4/9)</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ・フィッシングイベントについて観光政策課と協議 (5/14) ・輪旅高知(RINTABI KOCHI)インスタグラムアカウント作成 (7/20)</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ①ぐるっと高知サイクリングロード ・自転車道の改修に伴い、上級コース④パシフィックオーシャンロードのコース変更を実施 (5/10) ・ぐるっと高知サイクリングロードのブルーライン及びピクトグラムの設置を依頼 (5/10) ・サイクリングオアシスに登録されている道の駅等にパンフレットを配布 ・HP用素材写真撮影 (7/2, 8, 21) ・JCL(ジャパンサイクリングリーグ) 関係者との協議 (7/16)</p> ②四国4県関連 ・第1回協議会 (書面開催) を実施 (4/28) ・道の駅等にパンフレットを配布 ・サイクルモード大阪への出展 (7/24, 25) ③自然環境を生かしたスポーツツーリズム推進 ・意見交換会の開催 (5/27) 参加者: アドバイザー、県観光コンベンション協会、スポーツ課 内容: 事業スキーム、コンテンツ、運営方法について ・メールによる意見収集 (7月下旬) ◆実施予定イベント ・バイクロア (11月) ・チャレンジライド(11月) ・ツールド龍馬(11月)

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●受入れ環境の充実に向けて、関係機関・団体とのさらなる情報共有及び対策の検討 ●既存のイベントの実施形態や運営方法について関係団体と検討</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●自然環境を生かしたスポーツ大会の開催支援については、新たな大会の掘り起こしや磨き上げにつなげるため、競技団体や市町村にヒアリングや情報提供等を行う</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ●コース変更に伴う整備について、関係自治体及び関係部局と調整 ●自然環境を生かしたスポーツツーリズムの意見交換会を継続し、9月末までに事業スキームや目指す姿を明確にする ●プラットフォームの構築に向けて、地域のスポーツツーリズムの資源の確認を行う</p>	<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●サイクリングにおける受入環境(二次交通、配送等)のサービスが不十分 ●新型コロナウイルスの影響で県内で開催されるスポーツイベントが中止になっており、withコロナの状況下でも実施できるイベントの検討が必要</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●新たなイベントがサイクリングに限定されている</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ●コース変更に伴う、サイクリングロードの整備が必要 ●地域の特色あるスポーツツーリズムの拡充について、意見交換会の中で、<u>目指す姿の明確化、資源を見える化するプラットフォームの構築、紹介するスポーツ活動における安全面の確保、コーディネート機能の在り方の検討</u>といった意見が挙げられ、さらに検討外必要</p>

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ぐるっと高知サイクリングロードを生かしたプロモーションの強化 ■地域の特色ある自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○新たなプラットフォームを活用したスポーツツーリズムのプロモーションの展開 ○新たなプラットフォームの拡充に向けた地域の資源の掘り起こし・磨き上げ ■自然環境を生かしたスポーツ大会への効果的な支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○補助制度の見直し等による新たな大会開催の促進
----------------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ・その他
事業概要	県内プロスポーツ等への支援 県スポーツ協会や、競技団体等と連携し、地元プロスポーツチームや、プロリーグへの参入を目指すスポーツチームが、県民にさらに親しまれるよう支援する。		
令和4年度末の目指す姿		令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
●県内で開催される公式戦の観戦者を増やすことにより、「みる」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツに参加する人口が増加し、交流人口の拡大などによる、地域経済の活性化を目指す。		●県外入込客数14万人 ●昨年よりホーム戦入場者数が増加している	●県外入込客数13万人 ●昨年よりホーム戦入場者数が増加している
現状		課題	
R2年度ホーム戦平均入場者数 ・高知ファイティングドッグス 184人（延べ5,513人）⇒R3:5,519人 ※四国I Lホーム戦30試合 ・高知ユナイテッドS C 677人（延べ4,714人）⇒R3:3,581人 ※JFLホーム戦7試合		●新型コロナウイルス感染症の影響で、公式戦が無観客及び人数制限があることから、入場者減少への対策が必要 ●県内外の観戦者の増加に向け、球団及びクラブとの官民連携の強化を図り、新たな取り組み（イベント等）の構築が必要	

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
(1) 地元プロスポーツチームやプロリーグへの参入を目指すスポーツチームへの支援 ①高知ファイティングドッグス ・試合告知P R ・公式戦ユニホーム広告宣伝費 ・優秀選手表彰 ・広告経費に対する助成金 ・プレシーズンマッチ等運営委託 ・庁内販売の支援 ②高知ユナイテッドS C ・試合告知P R ・公式戦ユニホーム広告宣伝費 ・庁内販売の支援	(1) 地元プロスポーツチームやプロリーグへの参入を目指すスポーツチームへの支援 ①高知ファイティングドッグス ・コロナの影響による公式戦の中止・延期 (3/28) (4/4) (4/9) (4/17) (5/1.2) (5/14) ・庁内におけるホーム公式戦の告知（全試合） ・庁内販売実施（4/6） ・前期優秀選手表彰式（7/19） ②高知ユナイテッドS C ・J F L 公式戦（コロナの影響で観客数制限試合あり） 前期16試合開催（3/14～7/11） 後期16試合開催（7/18～12/5） ・観客数増加に向けた、高知ユナイテッドS Cとの協議（4/16） ・庁内におけるホーム公式戦の告知（全試合） ・庁内販売実施（8/2） ・「高知U S CをJクラブへ推進委員会」への参加（7/21）（8/5） 【目標に対する実績】 県外からのスポーツによる入込客数：3,391名（7月末現在）
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
●県内入込客数増加に向けたホーム公式戦の充実及びさらなるP R ①高知ファイティングドッグス ●ホーム公式戦における県外観戦者誘致事業（5月～10月） ※宿泊を伴う観戦者へ県内特産品贈呈等 ②高知ユナイテッドS C ●ホーム公式戦における県内外観戦者誘致事業（5月～12月） ※ホーム公式戦における高知マルシェ（県内飲食店や特産品等の出店）を開催し、高知マルシェで利用できる200円の金券を観戦者に贈呈 ●J3入りに向けた課題解決のため関係者間で協議を進める	●県内外入込客数の減少が見込まれる ●高知ユナイテッドS CのJ3入りに向けてはホームグラウンドの確保など、クリアしなければならない課題がみられる

見直しの
方向性

■ホーム公式戦における県内外観戦者のさらなる誘致

3本の柱に横断的に関わる施策の方向性

施策の方向性	(1) オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿受入（2021年）に向けた協定書締結国との協議、受入体制の構築や機運づくり ●レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の充実
---------------	----------------------------------	----------------	---

事業概要	オリンピック・パラリンピック事前合宿事業、ホストタウン事業及び聖火リレープロジェクト推進事業 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿等の招致を通じた機運の醸成を図るとともに、将来を担う子ども達が夢や希望を抱いてスポーツに取り組み、県民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、地域の活性化につながる取り組みを行う。		
-------------	--	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、ホストタウン国とのスポーツ交流などが、県や市町村、関係団体等の事業として継続している ●聖火リレーが開催されたことで醸成されたスポーツ機運が継続している 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホストタウンの交流が、大会後のレガシーとして継続している ※令和3年度の到達目標に追加 南国市（シンガポール） 	<ul style="list-style-type: none"> ●チェコ、シンガポールの事前合宿の実施 ●大会後のレガシー構築のために、相手国関係者と継続的に協議

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿に関する調整状況（令和2年度末） <ul style="list-style-type: none"> ・チェコ、シンガポールともに計画どおり実施することで準備を進めている ⇒R3:2か国の事前合宿受入れ ●オリンピック聖火リレーの準備状況（令和2年度末） <ul style="list-style-type: none"> ・大会組織委員会及び県内関係機関等との最終調整段階 ⇒R3:オリンピック聖火リレー実施（4月19日・20日） パラリンピック聖火イベント実施（8月16日） 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿の受入れ及び聖火リレーの実施に関する新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ●レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の実施

令和3年度の取り組み状況

<p>P 当初計画（今後の取り組み予定）</p> <p>(1) 事前合宿に向けた受入体制の構築や機運づくり</p> <p>チェコ(陸上・水泳・カヌー・ボート)及びシンガポール(バドミントン・水泳の事前合宿の実施)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①チェコとシンガポールとの継続的な協議 <ul style="list-style-type: none"> ・合宿受入れに向けた継続的な協議（メール、オンライン） ②市町村や競技団体等との連携協会による受入体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事前合宿受入連絡協議会の定期的な開催 ③コロナ禍における事前合宿受入れに向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策等を定めた「受入れマニュアル」の作成と受入体制の構築 ④練習相手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークアドバイザーや競技団体を通じた国内実業団への協力依頼 ⑤ホストタウン交流事業「高知にオリンピック選手がやってくる」実施に向けた関係者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係大使館や観光局との協議 	<p>D 取り組み状況</p> <p>(1) 事前合宿に向けた受入体制の構築や機運づくり</p> <p>【受入実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>国名</th> <th>種目</th> <th>期間（2021年）</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">チェコ</td> <td>陸上</td> <td>7月21～30日</td> <td>春野（陸上競技場ほか）</td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>7月12～25日</td> <td>くろしおアリーナ</td> </tr> <tr> <td>カヌー</td> <td>7月11～30日</td> <td>須崎市浦ノ内カヌー場</td> </tr> <tr> <td>ボート</td> <td>7月12～17日</td> <td>須崎市浦ノ内カヌー場</td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>バドミントン</td> <td>7月11～20日</td> <td>南国市立スポーツセンター</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> ①チェコとシンガポールとの継続的な協議 <ul style="list-style-type: none"> ・合宿受入れに向けたオンライン協議（チェコ5月7、26、28日、シンガポール5月14日） ・メール等による協議、調整（随時） ②市町村や競技団体等との連携による受入体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事前合宿受入連絡協議会（第5回 5月12日、第6回 6月25日） ③コロナ禍における事前合宿受入れに向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン自治体等オンライン会議への参加（5月6日、21、31日、6月8、11日、7月11日） ・国「マニュアル作成の手引き（改訂）」による「受入れマニュアル」作成 ・保健所等との協議（6月11、14、15、18日、7月7、8日） ・協力医療機関等との協議（5月25、6月1、3、9、14日） ・宿泊施設（5月9、14日、6月30日） ・空港関係者（5月17、24、27日、6月4、8、9、23日、7月1日） ④練習相手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・国内実業団（ユニス）との打ち合わせ（4月～） ⑤ホストタウン交流事業「高知にオリンピック選手がやってくる」実施に向けた関係者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係大使館や観光局との協議（4月～） ・チェコ及びシンガポールPR展示（6月10～16日） ・異文化教室「チェコを学ぶ会」に向けた高知南高校との協議（4月～） ※異文化教室は中止 ・「ホストタウンフレーム切手」贈呈式（6月10日） ・駐日チェコ共和国大使の知事表敬訪問（7月8日） ⑥合宿期間中の報道対応 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関による取材（7月12、13、22、28日） ・オンラインによるインタビュー（7月16、18、22日） 	国名	種目	期間（2021年）	会場	チェコ	陸上	7月21～30日	春野（陸上競技場ほか）	水泳	7月12～25日	くろしおアリーナ	カヌー	7月11～30日	須崎市浦ノ内カヌー場	ボート	7月12～17日	須崎市浦ノ内カヌー場	シンガポール	バドミントン	7月11～20日	南国市立スポーツセンター
国名	種目	期間（2021年）	会場																			
チェコ	陸上	7月21～30日	春野（陸上競技場ほか）																			
	水泳	7月12～25日	くろしおアリーナ																			
	カヌー	7月11～30日	須崎市浦ノ内カヌー場																			
	ボート	7月12～17日	須崎市浦ノ内カヌー場																			
シンガポール	バドミントン	7月11～20日	南国市立スポーツセンター																			

令和3年度の取り組み状況

